

留学報告書

留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	ディアプローバレーカレッジ
留学期間	2018年8月～2019年5月
留学を開始した時の学年	2年生

留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	150万円
保険料	13万8千円
宿舍費（1か月あたり）	7.5万円
食費（1か月あたり）	1.5万円
渡航旅費	20万円

滞在形態関連

1) 種類
ルームシェア。
2) 部屋の形態
相部屋。
3) 設備
シャワー、お風呂（浴槽）、トイレ、エアコン、キッチン、ランドリー、インターネット環境、宅配ボックス。
4) 住居を探した方法
留学先大学のホームページ。

現地情報

1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？
いいえ。
2) 現地で病院にかかったことはありますか？

いいえ。
3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？
はい。
4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？
いいえ。
5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？
大学のカウンセラー。
6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？
大学周辺は学生が多く、近くに彼らが主に住むアパート地帯があるので比較的安心だと思います。しかし、ホームレスの人たちもうろついているので、注意が必要です。
7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？
大学に wifi が設置されており、スムーズに使用することができる。携帯電話の sim カードは日本で米国対応のものを契約し持って行きました。
8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？
現地の銀行口座を開きました。自分の場合は約一年間の留学だったので、こっちの方がなにかと都合が良いと思い開設しました。パスポートとI-20 と現地の生徒手帳を持って行けば、簡単に開設することができました。銀行によっては手数料を毎月取る銀行もあるので確認してください。
9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？
大学周辺にスーパーやショッピングモールがあったので、買い物をする分には困りませんでした。現地にアジアンマーケットもあるので、ある程度手に入ります。強いて言えば、自分の使っている化粧水等は持っていくべきです。
10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？
クレジットカード。
11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

渡航について

1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？
滞在先エージェントの迎え。

2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？

はい。セメスターが始める前に 1 日だけオリエンテーションがありました。留学生を対象にしたイベントもあるので参加してみてください。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

履修した授業科目名

Integrated College Read/Writing Development

授業内容や試験、授業を受けた感想について

授業で配られる記事と指定された 1 つ物語本を元に授業が行われました。基本的にはそれらを読み、1 枚から 2 枚のショートエッセイが課題として出されました。授業内では課題として出された読み物について、議論しクラス内で理解を深め、計 4 つのエッセイを書きました。最後には物語本についてのグループプレゼンテーションがありました。

履修した授業科目名

Introduction to College Writing

授業内容や試験、授業を受けた感想について

現地大学で英語のアセスメントテストを受けた時にカウンセラーの先生から勧められて受講しました。レベル的には、上記の英語のクラスより、1 つ下のクラスです。名前の通り、ライティングに特化したクラスで、エッセイの構成を先生が講義形式で教えて、ペアワークなどで理解を深めました。4 つのエッセイが課題としてだされました。

履修した授業科目名

Advanced Oral Communication

授業内容や試験、授業を受けた感想について

この授業は ESL でいろいろな国籍、幅広い年齢の生徒がいて、アメリカならではのクラスだと感じました。授業内容は第二言語話者のよくある文法ミスや、語句の間違った使用方法等を先生、他の生徒たちとの会話の中で学びました。3 分程度のプレゼンや、最後の授業にはディベートがありました。

履修した授業科目名
Intermediate Soccer
授業内容や試験、授業を受けた感想について
サッカーの授業。軽くウォーミングアップをしたら試合という流れはサッカー経験者の私からすると、とても楽しかったです。国籍を問わず、色々な学生が参加していたので、サッカーに限らず体育のクラスは国際交流の場になると感じます。

履修した授業科目名
Student Success
授業内容や試験、授業を受けた感想について
海外からの学生のための授業です。米国の文化や大学制度、また人生設計や進路設定の方法を学びました。毎週ごとに 600 字程度の課題が出ましたが、自分のことに対するトピックだったので自己分析が深まりました。プレゼンテーションが 2 回あり、時間も 5~10 分程度と私はかなりの準備は必要でした。

履修した授業科目名
introduction to Business
授業内容や試験、授業を受けた感想について

オンラインの授業。冬休みに短期で開講されたのを受講しました。与えられた教科書を元にウェブでチャプターごとにテストを受け、知識をインプットしました。試験としては、ビジネスに関する1つエッセイが最後にありました。

履修した授業科目名

Principles of Macroeconomics

授業内容や試験、授業を受けた感想について

講義形式でマクロ経済学を学びました。専門用語が多く、辞書を引いたり、日本語の参考文献なども使いながら授業を受けました。テストは計4回あり、どれもマクロ経済の計算方式を問われ、中にはショートエッセイで自分の意見を問われることもありました。

履修した授業科目名

Introduction to Sociology

授業内容や試験、授業を受けた感想について

社会学を米国で問題となっている事例と関連付けながら学びました。先生がユニークな方でとても授業の内容はわかりやすく興味深いです。テストが4回あり、専門用語の意味が問われる問題とショートエッセイがありました。

履修した授業科目名

Cultural Anthropology

授業内容や試験、授業を受けた感想について

比較人類学という私にはあまり馴染みの無かった授業でしたが、人類の発達やその後の各文化の成り立ちを学ぶことは非常におもしろかったです。講義形式でクラスが行われ、課題は毎週かなりの量が出ました。試験は教科書を読み解く問題がとわれ、計4回ありました。

履修した授業科目名

Freshman English: Comprehension/Read Multilingual

授業内容や試験、授業を受けた感想について

この英語のクラスはバイリガル、マルチリンガルのための英語の授業でレベルはIntegrated College Read/Writing Developmentの1つ上のクラスとなります。4つのおおまかなトピックがあり、それらについて議論し、エッセイを書くという流れでした。先生が経歴のユニークな方で、度々経験談を話しては笑いを取るというとても和やかなクラスでしたが、エッセイと採点は非常に厳しかったです。

履修した授業科目名

Grammar for Multilingual Students

授業内容や試験、授業を受けた感想について

上記の英語のクラスを受講するのに必須のクラスで、文法を主に学びました。第二言語学習者ならではの間違いを教えてもらいました。試験は特にありませんでした。

履修した授業科目名

Applied Business Mathematics

授業内容や試験、授業を受けた感想について

色々な数学方式をビジネスのあらゆるトピックに当てはめて学びました。オンラインの授業なので、教科書とウェブテストを進める形でしたが、先生がとても熱心な方で、ディスカッションがウェブであったり、仮想のホテルを各自で立ち上げ、数学をそのなかに組み込むプロジェクトがあり、非常に内容の深いクラスでした。

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>留学を決意した主な理由は日本から出て、米国という世界の中心で様々な国籍の生徒と学んでみたかったからです。私の留学先はカリフォルニア州で人種が多様でした。その中で、約一年間志高い学生と一緒に学べたことは私の人生においてとても貴重な経験となりました。また、自分の英語力がどこまで通じるか試すことも1つの理由でした。日本国内に居てはその機会はありません。英語力を改善、向上するのに留学がベストだと感じたからです。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>私のプログラムは夏出発だったので、必要書類の準備や TOEFL スコアの取得など、その前年の秋ごろから始めました。プログラムに参加できることが決まると、ビザ取得の準備や現地での住居の確保をしました。また、留学先でのクラスについていけるようにリスニングを主に、自分の英語力を見直しました。今、しておけばよかったと感じるのは現地大学で履修する授業をもう少し慎重に考えるべきだったと思います。私の留学先は前例がなく、自分の代が初めての受け入れだったのであまり情報がない中、履修授業を選ぶのは苦労しました。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>Rate my professors というウェブサイトは米国の2年制大学から4年制大学の各大学の教授の評価を学生が自由に書き込めるサイトです。このサイトは現地大学生の間で人気で、この評価を見ながら受講するクラスを決める生徒も少なくはありませんでした。実際にその教授に教わった生徒たちの情報なので信頼性はありますが、鵜呑みにはしないでください。直接、初回の授業に行き確かめるのが大事だと思います。このことを念頭においた上で利用すると、役に立つと思います。</p> <p>また、Venmo という割り勘するためのアプリがあります。現地の銀行口座と連携することができ、オプションで手数料がかからずに友達との間で送金を行うことができます。長期滞在する人は検討してみてください。</p>
<p>大学・学生の雰囲気（職場や同僚の雰囲気）</p>	<p>ディアプロバレーカレッジはカリフォルニア州の2年制大学の中で一番多くの学生を UC バークレーという名門校に送り出している学校です。そのため、学生はとても熱心に授業に取り組んでいます。また、授業内での交流がとても盛んで、フレンドリーな印象を受けました。先生方も国籍多様で色々な文化やその国のアク</p>

	<p>セントも学ぶことができます。学校はサンフランシスコから電車で 40 分の落ち着いた場所に位置しており、勉学に集中できる環境は揃っています。</p>
<p>滞在先の雰囲気</p>	<p>私はディアブロバレーカレッジのホームページに記載されていたシェアルームを選びました。記載されているリンクからそのエージェントと連絡を取り、部屋を決めます。私の滞在先はワンフロアに 5 人用で、計 3 つの部屋がありました。私は 3 人での相部屋でした。共同のキッチンとリビングルーム、2 つのバスルームがあり、共同生活を送る上では十分の設備だったと思います。また、余談にはなりますが大学に記載されていない facebook 等に載っているあっせん業者と契約する際には注意が必要だと感じました。友達の 1 人が契約上のいざこざに巻き込まれ、金銭的な問題に発展したからです。なので、滞在先は慎重に検討してください。</p>
<p>留学先における交友関係</p>	<p>私はサッカーのクラスで出会った友達と一緒に過ごすことが多かったです。彼らは、米国での生活が長く、英語も堪能でしたので私の良き英語の先生でした。また、彼らとの生活で非常に印象に残っていることは、とにかく英語で話すことです。彼らも同じ道を辿ってきてるので、私の文法等の間違いも理解し、直してくれました。そして時にはスラングなどの現地で生活していないと分からない語句や表現を教えてくれることもありました。帰国後も連絡を取っており、留学先でできた交友関係はとても貴重なものです。</p>
<p>留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと</p>	<p>始まって最初の 1 週間はとても苦労したのを鮮明に覚えています。言語はもちろんのこと、友達ができるまでは孤立感が現地の生活への不安と重なり、辛かったです。また、テスト期間はいくつかの課題と試験が重なり、計画的に勉強しないと深夜まで、あるいは寝れない日もありました。自炊の面ではかなり苦労しました。授業で疲れて帰宅して、晩御飯を作ることは私にとって大きな壁とも言うべき試練でした。その結果、栄養の偏った安い冷凍食品に手を出し、しまいには 5 日間連続で冷凍ピザなんて週もありました。</p>

<p>留学先における学習，課題や試験</p>	<p>クラスによっては，専門用語を多く扱うものもあります。私は分からない用語を逐一聞いたり，調べたりしていました。そうしないと，授業についていけなくなってしまうからです。エッセイを書く上でのアドバイスや授業で理解できなかった部分を聞くためにオフィスアワーを活用しました。先生によっては，クラス参加の評価にオフィスアワーの回数を加点してくれたりするのでぜひ行ってみてください。何より，英語を話す素晴らしい機会です。</p>
<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>現地大学のサッカーサークルのようなものに参加していました。週に一回大学外からも参加者があるのでかなりの人数になる時もありました。外で体を動かすことはストレス発散，また留学でたむがちな体型維持にもつながるので，何かしらのスポーツクラブに参加することをお勧めします。加えて，私はICFというクリスチャン団体の炊き出しの会に行っていました。無料でご飯を頂くことができ，他の生徒達との交流にも繋がりました。大学外でどう過ごすかは留学生活において非常に重要な役割を果たすと思います。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>誰もが留学に対して色々な不安を抱えていると思います。言語の壁，文化の違い，現地大学の授業の難易度など数えだしたらキリがないくらいです。しかし，このような悩みは留学を志す人だけのものです。言葉を言い換えればその人たちにしか体験できない悩みなのです。そんな不安を乗り越えた先はきっとひとまわり，ふたまわりも成長していると思います。英語力も人間力も成長させてくれる留学体験は貴重な財産になります。ぜひ，がむしゃらに笑顔で頑張ってください。留学を志す人を心より応援しています。</p>